



報道発表資料の配付日時 11月25日(金)10時00分

発表項目 (行事名)	令和4年度(2022年度)第1回タンチョウ越冬分布調査の実施について																														
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																													
		発表場所																													
概 要	<div>【ポイント】 絶滅危惧種タンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的として毎年実施している本調査について、次のとおり今年度1回目の調査を実施します。 なお、胆振管内では、令和元年度(2019年度)の第2回標記調査以降、苫小牧市やむかわ町などで越冬個体が確認されています。</div>																														
	1 調査の概要																														
	(1)日時 令和4年(2022年)12月2日(金) 8:50～9:10 悪天候などにより中止の場合は12月9日(金)に延期。																														
	(2)場所 十勝、釧路及び根室管内を中心としたタンチョウ生息地及び飛来地 (10(総合)振興局、45市町村管内の計349箇所を予定)																														
参 考	(3)調査協力者 関係市町村、関係市町村教育委員会、釧路市動物園等関係機関、関係小・中学校、日本航空株式会社及びタンチョウ給餌人など																														
	(4)調査の内容 地元小・中学校や関係機関等の協力のもと、タンチョウの見られた場所や大まかな個体数を記録します。																														
	(5)参考 今年度第2回の調査は令和5年(2023年)1月24日(火)に実施する予定です。																														
	2 調査結果の公表 調査結果は、関係(総合)振興局で記録したものを、自然環境課で取りまとめ、12月下旬から1月上旬に公表します。																														
	3 過去の調査経過																														
	<table><tr><th>年 度</th><th>確認羽数</th><th>実施時期</th><th>備 考</th></tr><tr><td>昭和27年度</td><td>33羽</td><td>12月</td><td>実施主体は道教育庁</td></tr><tr><td>昭和59年度</td><td>327羽</td><td>12月</td><td>実施主体を道に変更</td></tr><tr><td>平成元年度</td><td>441羽(1月)</td><td>12月、1月</td><td>年2回調査に変更</td></tr><tr><td>平成5年度</td><td>628羽(1月)</td><td>12月、1月</td><td>環境省委託(実施は道)に変更</td></tr><tr><td>平成17年度</td><td>1,081羽(1月)</td><td>12月、1月</td><td>はじめて1,000羽超を記録</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>1,525羽(1月)</td><td>12月、1月</td><td>過去最多の羽数を記録(前年度)</td></tr></table>			年 度	確認羽数	実施時期	備 考	昭和27年度	33羽	12月	実施主体は道教育庁	昭和59年度	327羽	12月	実施主体を道に変更	平成元年度	441羽(1月)	12月、1月	年2回調査に変更	平成5年度	628羽(1月)	12月、1月	環境省委託(実施は道)に変更	平成17年度	1,081羽(1月)	12月、1月	はじめて1,000羽超を記録	令和3年度	1,525羽(1月)	12月、1月	過去最多の羽数を記録(前年度)
	年 度	確認羽数	実施時期	備 考																											
	昭和27年度	33羽	12月	実施主体は道教育庁																											
	昭和59年度	327羽	12月	実施主体を道に変更																											
	平成元年度	441羽(1月)	12月、1月	年2回調査に変更																											
平成5年度	628羽(1月)	12月、1月	環境省委託(実施は道)に変更																												
平成17年度	1,081羽(1月)	12月、1月	はじめて1,000羽超を記録																												
令和3年度	1,525羽(1月)	12月、1月	過去最多の羽数を記録(前年度)																												
報道(取材)に当たってのお願い 第1回調査では、釧路管内の小中学校の児童、生徒をはじめ多くの方々の御協力をいただくこととしております。 なお、本事業は平成29年度から北海道と包括連携協定を締結している日本航空株式会社と協働で実施していますので、積極的な報道をお願いします。 胆振管内における調査地等につきましては、下記担当までお問い合わせ願います。																															
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	道政記者クラブ及び関係(総合)振興局記者クラブで配付します。																													
担 当 (連絡先)	環境生活部 環境局 自然環境課 (担当者：課長補佐 橋本) 電話 ダイヤルイン：011-204-5203 又は 代表：011-231-4111 内線24-352 胆振総合振興局 保健環境部 環境生活課 (担当者：環境生活課長 那賀島) 電話 ダイヤルイン：0143-24-9508 又は 0143-24-9577 内線：2950																														

令和 4 年度 (2022 年度) 第 1 回タンチョウ越冬分布調査について

1 調査の趣旨

絶滅のおそれが懸念されるタンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的に毎年実施しているものです。

地元小・中学校や関係機関等の協力のもと、調査の基礎的な手法やタンチョウ保護の歴史について学ぶことができるよう調査を進め、見られた場所や大まかな個体数を記録します。

2 調査主体

北海道 (環境省委託)

3 調査協力機関等

関係市町村、関係市町村教育委員会、釧路市動物園等関係機関、関係小・中学校、日本航空株式会社、タンチョウ給餌人など

4 調査対象地域

十勝、釧路、根室管内を中心としたタンチョウ生息地及び飛来地全域

※ 現在のところ、空知、石狩、後志、胆振、日高、宗谷、オホーツク、十勝、釧路、根室の 10 (総合) 振興局管内 45 市町村管内の計 349 箇所について調査を実施予定

5 調査期日

令和 4 年 (2022 年) 12 月 2 日 (金)

※ 荒天時予備日 12 月 9 日 (金)

6 調査時間

(1) 事前予備調査 (参考) 午前 8 時 50 分から午前 9 時 00 分まで (10 分間)

(2) 本調査 午前 9 時 00 分

(3) 事後予備調査 (参考) 午前 9 時 00 分から午前 9 時 10 分まで (10 分間)

7 調査方法

地上からの目視により調査を行います。

8 調査内容

次の事項について調査・記録を行います。

(1) 着地しているタンチョウ

- ・羽数 (幼鳥、成鳥、不明の別)
- ・場所 (地点名)

(2) 飛翔中のタンチョウ

- ・羽数 (幼鳥、成鳥、不明の別)
- ・場所 (地点名)
- ・飛来又は飛去の方向

(3) 確認時刻

9 調査結果の集計、公表

調査結果は関係 (総合) 振興局で集計し、本庁で全道分を取りまとめた後、12 月下旬から 1 月上旬に公表します。

過去のタンチョウ越冬分布調査の結果

○これまでのタンチョウ羽数の推移（昭和27年度から令和3年度 合計羽数）

